

一 旅籠の屋根が瓦葺

旅籠に限らず、京・大坂以外の町屋の屋根は、板葺きがほとんど。江戸で瓦が普及したのは8代将軍吉宗の頃から。

二 巨大な旅籠の看板

例外や地域差はありますが、小さい吊るし看板や行灯に紙を貼った看板が主流であったようです。

三 とっても明るい宿場町と賑やかな夜

江戸時代の油やろうそくは高級品で、宿場町の夜は暗闇でした。そもそも夜は木戸が閉まるので、人通りは途絶えます。

四 旅籠にたっぷりのお湯を張った風呂を常備

温泉地等例外はありますが、風呂が無いこともあり、銭湯に行くことも多かったようです。しかも蒸し風呂が主流でした。

五 個室にご案内～

これも例外はありましたが、現代の山小屋のように、相部屋を求められることも多かったようです。